

ながいずみクチコミガイド⑤ パワースポット



龍の鱗(りゅうのうろこ)



割狐塚稲荷神社



愛鷹山水神社

ながいずみの
守り神たち!

Enjoy!

Nagaizumi
Sanpo



発行 ながいずみ観光交流協会

ながいずみの守り神に会いにいこう!

長泉には、神社仏閣や、伝説・民話、さらに癒やしの空間など、数多くのパワースポットがあります。今回は、その中から10ヶ所に絞ってのご紹介!「知らなかった!」や「ホントかなあ?」まで、面白い構成となっていますので、ぜひ現地を訪れ、長泉を楽しんでください。



▲360度カメラによるイメージ画像

クチコミ その1 不思議なパワーを感じる 幻想的空間「龍の鱗」

愛鷹山水神社の入口から、西側の林道を10分ほど歩くと「龍の鱗」と呼ばれるビュースポットがあります。

その辺りの沢の周辺一帯は、板状節理の溶岩で覆われた、不思議なパワーを感じられる幻想的な空間です。

愛鷹山水神社の開創者「寿善院日龍上人」は、まずこの場所に祠を作り、その後現在の場所に、愛鷹山水神社を作ったようです。

クチコミ その2 長泉最強のパワースポット 「愛鷹山水神社」(俗称:すいじんさん)

桃沢川の源流に位置し、龍神をまつる寺社。明治36年に建立し、山奥にありながら、海洋渡航者や漁師などから水難の守護として信仰を集めています。

源流から流れる水は、静岡県湧き水100選にも選ばれており、汲み持ち帰る事ができます。また、川が境内に露出した愛鷹山の溶岩の上を流れ、周辺の林道などでは、溶岩流の中にできた板状節理なども観察できる、町内屈指のジオサイトでもあります。



▲360度画像



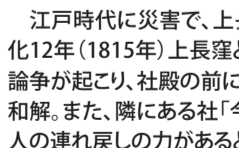
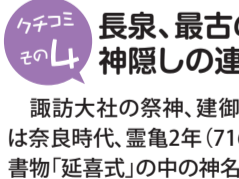
武風を研ぎ
星家のわたり
跡

◀石碑に刻まれている句

クチコミ その3 長泉にも東照宮があった!! 「御長屋東照宮」

明治元年(1868年)の明治維新により、幕府は解体し徳川家は江戸(東京)から駿府(静岡)に移されました。また、禄高も八百万石から七十万石に減少、旗本・御家人など徳川家の家臣団は各地に分散し自活の道を求めました。

元長窪の地には、78戸・96戸籍が入植し愛鷹の開墾にあたり、明治3年(1870年)久能山より東照宮を勧請し、建立されました。



▲今熊さん

クチコミ その4 長泉、最古の神社「桃澤神社」 神隠しの連れ戻し?「今熊さん」

諏訪大社の祭神、建御名方命を祭っており、創建は奈良時代、霊龜2年(716年)といわれ、平安時代の書物「延喜式」の中の神名帳にも記載があります。

江戸時代に災害で、上長窪から元長窪に再建、文化12年(1815年)上長窪と元長窪で名称についての論争が起こり、社殿の前に灯籠を交互に建てることで和解。また、隣にある社「今熊さん」は、神隠にあった人の連れ戻しの力があるという言い伝えがあります。



私のオススメ店

長泉ブランドにも認定されたブルーベリー♪

ブルーベリー狩り&カフェ「平野農園」

ブルーベリー狩りも楽しめる平野農園に併設されたカフェでオリジナルメニューが楽しめます。

■TEL.090-5614-5255 ■木曜定休 ■9:00~17:00



ながいずみ観光交流協会(伊豆半島ジオパーク 長泉ビジターセンター)
〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩1283-11 コミュニティながいずみ2F
TEL.055-988-8780 ■9:00~17:00 ■月曜定休